

20051

冠動脈形成術後の退院指導パンフレットを考えて

¹康仁会 西の京病院、²康仁会 西の京病院、³康仁会 西の京病院

庄田 雅美¹、北川 晶子¹、安永 美里¹、三木 夕佳¹、藤川 準美¹、松本 恵¹、板谷 教子¹、野口 幸²、清水 眞澄³

【はじめに】PCIを受けた患者へのパンフレットでの退院指導は有効である事が報告されている。従来のパンフレットでは不足があり、退院指導の重要性を感じ、アンケート調査を行い、パンフレットの見直しを行なった。【研究、対象】期間：2009年5月～2009年9月 対象：看護師27名 PCIを施行し、退院指導を受けた患者78名で内訳男性57名、女性21名 平均年齢71.1±8.3歳であった。調査方法：1、従来のパンフレットでの退院時指導内容の調査 2、新規作成をしたパンフレットで退院指導を行い、患者、看護師へのアンケート調査を行った。【結果】旧パンフに対するアンケートでは、「指導内容が十分ではない」が看護師で73.3%、看護師、患者とも主に疾患、日常生活の注意点の順であった。新パンフに対するアンケートでは、患者で「指導内容がわかりやすかった」が88%、看護師で「指導が行いやすくなった」が80.7%であった。【考察】旧パンフで、看護師は指導内容が十分ではないと感じ、患者では前回の指導内容を覚えていないこともあった。事前のアンケート調査で問題を明確にしたことで、患者の求める退院指導につながったと考える。新パンフは、退院後も繰り返し目を通せる事で、自己管理への意欲を高め、日常生活管理に役立てると考えられた。